

【大学推薦 University Recommendation】

奨学金等名称 Name of Foundation (or Name of Scholarship)			
三菱商事留学生奨学金 Mitsubishi Corporation International Student Scholarship			
募集人数 Number of Openings		前年度実績 Previous Year's Record	
全体 Total	50名程度		推薦 Recommended 2
本学 For Chiba Univ.	3		採用数 Admitted 1
	うち 学部生 Undergraduates	うち 大学院生 Graduates	
	3		対象外
学部・研究科 Department	大学院生: 2021年4月時点で修士1・2年次または博士1~3年次の者(4年博士後期課程は2~4年次) 学部学生: 2021年4月時点で3・4年次の者(医学部、薬学部は5・6年次) Graduate Student : M1, M2, D1., D2 and D3 student as of April 2021 (Four-years doctoral program student : D2, D3 and D4 student) Undergraduate Student : 3rd and 4th year student as of April 2021 (Medicine and Pharmaceutical Student : 5th and 6th year)		研究分野 Research Field 不問 Unmentioned
主な 応募資格 Some of Eligibility Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・日本以外の国籍を有する私費外国人留学生 ・経済的な援助を必要としている者 ・2021年4月以降、他の奨学金を受ける予定のない者 ・これまでに三菱商事留学生奨学金を受給していない者 ・最短でも1年間受給する資格を有する者 ・心身共に健康であり、かつ品行方正(行いがきちんとして正しいこと)で学業成績が優秀な者 ・国際交流を通しての社会貢献活動に強く関心を持ち、現在・将来を通じて国際社会の発展に貢献する意欲の強い者 ・受給期間中に6ヶ月以上海外に渡航する予定のない者 <ul style="list-style-type: none"> ・International student with a "Student" visa status. ・A student who needs financial aid to keep studying in Japan. ・Applicant must not receive other scholarship after April 2021. ・A student who has not received the Mitsubishi Corporation International Student Scholarship in the past. ・A student who is eligible to receive the scholarship at least for one year. ・An excellent student who is of good enough health to study in Japan. ・A student who has the strong will to contribute international understanding and mutual friendship. ・A student who does not plan to go abroad, as a general rule, for six months or longer during the scholarship period 		
特記事項 Note	別記又は留学生課ホームページに掲載の「奨学金応募に関する諸注意」を必ず確認して下さい。 2020年度後期までに私費外国人留学生を対象とした「奨学申請者登録」を行った者が申請できます。 Non-Japanese speaking students who require assistance, please consult to International Student Division.	国籍 Nationality	不問 Unmentioned (ただし南アジア、東南アジア、中南米、アフリカ地域出身の学生を優先とする)
支給金額(月額) Monthly Amount	学部生 Undergraduate 月額12万円 大学院生(修士) Master 月額15万円 大学院生(博士) Doctor ¥150,000/month	支給期間 Duration (year/month)	始 From 2021/4 至 To 卒業・課程修了まで til your graduation 年数 Year(s) 標準修業年限以内 legal course years of your school
募集期間 Application Period (year/month/day)		推薦者の発表日(予定) Candidate Selection Result will be announced on (year/month/day)	
始 From	2020/11/20	2020/12/15	
至 To	2020/12/11		
推薦者の応募書類提出期限 Application Documents must be submitted by (For Candidate only) (year/month/day)			
2021/1/8			
応募書類受付窓口 Offices to Submit Your Application Documents			
西千葉キャンパス : 学務部留学生課(総合学生支援センター2階) 亥鼻キャンパス : ISD亥鼻キャンパスプラチ(医薬系総合研究棟II 1階) 松戸キャンパス : ISD松戸キャンパスプラチ(F棟:新図書館横1階)		Nishi-Chiba Campus : International Student Division (Integrated Student Support Center, 2F) Inohana Campus : ISD Inohana Branch (Medical and Pharmaceutical Science Building II) Matsudo Campus : ISD Matsudo Branch (Research Building F, 1F)	
財団による選考(又は面接実施)の通知時期 Selection Result (or Interview) by the Foundation will be announced in		2021/3	

揭示日: 2020/11/20

令和3年度 三菱商事留学生奨学金 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、三菱商事株式会社(代表取締役社長 垣内 威彦 氏)のご支援により、「三菱商事留学生奨学金」(以下「本奨学金」という。)の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

本奨学金は、日本国内の大学及び大学院に在籍する優秀な私費外国人留学生に対して奨学金を支給することによって、経済的不安を緩和し、学習効果を高めることに寄与することを目的とする。

2 本奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である三菱商事株式会社(Mitsubishi Corporation) ※は、企業理念である「三綱領(所期奉公・处事光明・立業貿易)※」の精神を基盤に、海外諸国との国際交流・異文化交流を図り、有用人材の育成を行うことを目的として資金を提供された。

※ 三菱商事は世界約 90 の国・地域に広がる当社の拠点と約 1,700 の連結事業会社と協働しながらビジネスを展開しています。(ご参考:三菱商事 HP:<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/about/>)

※ 「三綱領」…三菱四代目社長岩崎小彌太の訓諭をもとに、昭和 9 年に制定され、三菱商事(株)の企業理念となっています。三菱商事(株)では、この精神を土台とし、世界中で幅広い分野における貢献活動を行っています。

- ・所期奉公—事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、かけがえのない地球環境の維持にも貢献する。
- ・处事光明—公明正大で品格のある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。
- ・立業貿易—全世界、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。

3 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

(1) 令和 3 年 4 月に、本協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という)の学士課程、修士課程又は博士課程のうち、以下に定める学年に正規生として在籍予定の私費外国人留学生。また、日本に在留中の在留資格は留学であること。

※:学年は次のとおりとする。

- ・ 学士課程 :3 年次から 4 年次まで(6 年制の場合は 5 年次から 6 年次まで)
- ・ 修士(博士前期)課程 :1 年次から 2 年次まで
- ・ 専門職学位課程 :1 年次から 2 年次まで(3 年制の場合は 2 年次から 3 年次まで)
- ・ 博士(博士後期)課程 :1 年次から 3 年次まで(4 年制の場合 2 年次から 4 年次まで)
- ・ 5 年一貫制博士課程 :1 年次から 5 年次まで(2 年次修了時に修士号が授与されない場合 3 年次から 5 年次まで)

(2) 経済的な援助を必要としている者。(アルバイト等による収入に頼る割合の高い者。)

(3) 本奨学金の支給期間中、他の奨学金を受けない者(貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除及び一時金は除く)。

(4) 最短でも 1 年間受給する資格を有する者。

(5) これまでに三菱商事留学生奨学金を受給していない者。

(6) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。

(7) 国際交流を通しての社会貢献活動に強く関心を持ち、現在・将来を通じて国際社会の発展に貢献する意欲の強い者。

(8) 受給期間中、休学の有無にかかわらず通算 6ヶ月を超えて海外に渡航しない者。

(9) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

4 採用人数

50名程度

5 支給内容

月額奨学金 120,000円(学士課程在籍者)

150,000円(修士(博士前期)課程、専門職学位課程及び5年一貫制博士課程、博士(博士後期)課程在籍者)

6 支給期間

令和3年4月から在籍課程修了まで

※ 5年一貫制博士課程在籍者については、2年次修了時に修士号が授与される場合は、1年次から2年次までを支給期間し、修士号が授与されない場合は3年次から5年次を支給期間とする。

※ 卒業・修了(5年一貫制博士課程での修士号取得を含む)後、上位課程へ進学(5年一貫制博士課程の場合3年次へ進級)した場合であっても、支給は終了とする。

※ 特段の理由により令和3年5月以降に渡日する場合は、渡日月から在籍する課程の修了期間までを支給期間とする。

7 応募・推薦方法

(1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。

(2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

8 応募・推薦書類

(1) 願書(別紙様式1。原則として日本語で記載されたものに限る。但し、英語のみで学位を取得できるプログラムに在籍する者に限り、英語による記載でもよい。) 1通

(2) 応募者の写真(最近6ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉

(3) 推薦書(別紙様式2)(推薦理由は指導教官等が記入すること。) 1通

(4) 令和元年度の学業成績証明書(学業成績証明書の提出が出来ない場合は、理由書(様式任意)を添付すること。) 1通

9 応募・推薦書類の提出期限

令和3年1月18日(月)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や、提出書類に不備がある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について、選考を行い、奨学生を決定する。結果は、令和3年3月下旬を目途に、大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

11 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12 受給者の義務

(1) 受給者は、本奨学金受給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、年度末及び本奨学金受給終了後、所定の様式により大学を通じて本協会へ報告すること。

(2) 受給者は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて本協会へ遅滞なく届け出ること。

(3) 受給者は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出ること。

- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により本協会へ報告すること。
- (5) 受給者は、本奨学金受給期間中及び受給終了後、本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答すること。
- (6) 受給者は、交流会(年1回)に可能な限り参加すること。

13 本奨学金の支給の休止又は終了及び決定取消

- (1) 受給者が大学を長期欠席(1か月を超過)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6に記載した奨学金の支給期間内において奨学金の支給を再開することがある。但し、6の支給期間は延長しない。
- (2) 受給者が次の①から⑤のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、除籍、停学、休学又は留年(相当すると認められる場合も含む)した場合。
 - ② 休学の有無にかかわらず受給期間中通算6ヶ月を超えて海外へ渡航することが決定した場合。
 - ③ 12に記載した本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ④ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ⑤ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、本奨学金の支給を休止または終了する。
- (4) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。
- (5) 渡航制限解除後、本人の都合により渡日しない場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

14 その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他への付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金採用決定(採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告しなければならない。また、本奨学金奨学生として採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはできない。
- (3) 受給者は、受給開始から終了まで他の奨学金に応募することはできない。(但し、本奨学金の受給終了後に支給を開始する他の奨学金は除く。)
- (4) 過去、本奨学金を受給した者は再度応募することはできない。
- (5) 所属大学の留学制度等を利用して海外に留学する場合、7ヶ月未満かつ長期欠席又は休学の扱いとならなければ支給を継続する。

15 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報の管理
本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、15(2)①から③及び⑤の目的で寄付者に開示する場合を除き、あらかじめ本人の同意がない限り、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。
- (2) 個人情報の利用目的
本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。
 - ① 本奨学金奨学生の選考のため。
 - ② 本奨学金支給事務のため。
 - ③ 本奨学金交流会等の開催のため。
 - ④ 当協会実施の国際教育支援プログラムの案内や参加の際の連絡手段のため。
 - ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に受給者本人からの承諾を受けた上で、当協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。

16 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育課
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-13-1 DLXビルディング 12階
TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail:ix@jees.or.jp

以上

2021 Mitsubishi Corporation International Scholarship Application & Recommendation Requirements

Japan Educational Exchanges and Services (JEES), with the support of Mitsubishi Corporation (Takehiko Kakiuchi, President and CEO), is pleased to offer the 2021 Mitsubishi Corporation International Scholarship (hereinafter “Scholarship”) to applicants based on the following requirements.

1. Purpose

The Scholarship is intended to provide support to outstanding foreign students who are studying at Japanese universities and graduate schools at their own expense. It is hoped that this will both help alleviate the financial concerns and enhance the learning effectiveness of the recipients.

2. About the Donor

The donor of the Scholarship, Mitsubishi Corporation※, hereinafter referred to as "the Scholarship Donor", is providing the Scholarship in an effort to promote international and intercultural exchange with foreign countries and to foster the development of talented individuals. The basis for this is Mitsubishi Corporation’s Three Corporate Principles which are “Shoki Hoko (Corporate Responsibility to Society),” “Shoji Komei (Integrity and Fairness)” and “Ritsugyo Boeki (Global Understanding Through Business).”

※ Mitsubishi Corporation is a global integrated business enterprise that develops and operates business together with its offices and subsidiaries in approximately 90 countries and regions worldwide, as well as a global network of around 1,700 group companies. (Mitsubishi Corporation Website: <https://www.mitsubishicorp.com/jp/en/about/>)

※ The Three Corporate Principles - Formulated in 1934 as the action guidelines of Mitsubishi Trading Company (Mitsubishi Shoji Kaisha), based on the teachings of Koyata Iwasaki, the fourth president of Mitsubishi. The principles are the cornerstone of Mitsubishi Corporation’s wide range of corporate philanthropy activities conducted all over the world.

- Shoki Hoko - Strive to enrich society, both materially and spiritually, while contributing toward the preservation of the global environment.
- Shoji Komei - Maintain principles of transparency and openness, conducting business with integrity and fairness.
- Ritsugyo Boeki - Expand business, based on an all-encompassing global perspective.

3. Eligibility Requirements

Only applicants who meet all of the following criteria will be considered:

- (1) A student with citizenship of a country other than Japan and who is paying their own expenses. Someone who intends to study in Japan as an official undergraduate student, graduate student or doctoral student of University designated by JEES as of April 2021. The residential status while in Japan must be “student” .

(Note):

※ Eligibility of universities and graduate schools will be determined after discussions with the Scholarship Donor .

※ Applicants must have “College Student” visa.

※ Applicants must belong to following grades;

- Undergraduate :From 3rd to 4th year (From 5th to 6th year if studying in a 6-year course)
- Graduate :From 1st to 2nd year
- Professional degree :From 1st to 2nd year (From 2nd to 3rd year if studying in a 3-year course)
- Doctoral :From 1st to 3rd year (From 2nd to 4th year if studying in a 4-year course)
- 5-year Doctoral :1st to 5th year (3rd to 5th year if master's degree is NOT obtainable when completing 2nd year)

- (2) Someone in need of financial assistance (someone who pays for a large portion of their own expenses through part time work, etc.).
- (3) Someone who doesn’t receive other scholarships except for loan scholarships, tuition exemption or one time lump sum scholarships during the scholarship period.
- (4) Someone who is eligible to receive the Scholarship at least for one year.

- (5) Someone who has not received the Mitsubishi Corporation International Scholarship in the past.
- (6) A talented, well-behaved individual who is in good health, both mentally and physically.
- (7) Someone who has a keen interest in societal contribution geared towards international exchange, and who has a strong desire to contribute to the development of the global society both now and in the future.
- (8) Someone who does not plan to go abroad for six months total or longer during the Scholarship period regardless of whether it is on the leave of absence or not.
- (9) Someone who comes highly recommended from their university.

4. Number of Recipients

Approx. 50 new recipients

5. Scholarship Amounts

Undergraduate: ¥120,000/Month

Graduate/Professional Degree/Doctoral/5-year Doctoral: ¥150,000/Month

6. Scholarship Period

From April 2021 until obtaining one's degree

- ※ Concerning 5-year doctoral program, if master's degree is obtainable when completing 2nd year, the scholarship period shall be from 1st year to 2nd year, and if the master's degree is Not obtainable, the scholarship period shall be from 3rd year to 5th year.
- ※ Scholarship period will not continue after obtaining the degree in the course to which a recipient belongs(including obtaining master's degree in a 5-year doctoral program) even if he/she advances to an upper program(including advancing to 3rd year in a 5-year doctoral program) .
- ※ If the arrival in Japan is after May 2021 due to a special reason, the scholarship period shall be treated from the month of arrival to the completion of the program.

7. Application and Recommendation Process

- (1) An individual who wishes to receive the Scholarship (hereinafter "Applicant") must submit the necessary application and recommendation materials through his/her university to the President of JEES (hereinafter "President").
- (2) The Applicant's University Head must confirm that the Applicant meets all of the Eligibility Requirements as described in Article 3 above and must submit the Recommendation Materials regarding the Applicant's character and academic abilities as described in Article 8 below to the President.
The number of applicants that each university may recommend is detailed in a separate request letter.

8. Application and Recommendation Materials

- (1) Application Form (Attachment 1): 1 form
In principle, this form should be completed in Japanese. However, for students enrolled in courses that are conducted entirely in English, the form may be completed in English.
- (2) Applicant Photo: 1 photo
Must be taken within the last 6 months. 4.0cm length by 3.0 cm width, upper body included, head uncovered. Write Applicant's name on the reverse side and attach to the Application Form.
- (3) Letter of Recommendation from University Head (Attachment 2): 1 form
Reasons for recommendation should be written by a current professor or other similar person of authority
- (4) A copy of the Applicant's official academic transcript for 2019: 1 form
If transcripts are unavailable, the Applicant must attach a written explanation (format not fixed).

9. Application and Recommendation Deadline

Must arrive by Monday, January 18, 2021.

Applications which arrive later than the deadline stated above will not be considered. Also, application and recommendation materials will not be returned regardless of when they are submitted.

10. Announcement of the Results

The President will review the application and recommendation materials submitted through the Recommendation Process described in Article 7.(2) and will select the recipients. Results will be announced through the universities in around late March 2021.

11. Scholarship Payments

Scholarships will be paid through the recipient's university via a method to be determined at a later date.

12. Duties of the Recipient

- (1) A Scholarship recipient (hereinafter "Recipient") must submit a report detailing the status of his/her studies or research during the Scholarship period to his/her university head at the end of the school year in a format provided by JEES.
- (2) Recipient must send in a notice by the specified format to JEES through the university when he/she changes status of school registration.
- (3) Recipient must send in a notice by the specified format to JEES through the university when he/she changes address and contact information during the Scholarship period. After the Scholarship period, he/she must send in a notice directly to JEES (format not fixed).
- (4) Recipient must submit a report on the status of his/her career after graduation by the specified format to JEES when graduating from the university.
- (5) Recipient, upon request of JEES or the Scholarship Donor, will answer questionnaire surveys during and after the Scholarship period.
- (6) Recipient will participate in an exchange event (once a year) .

13. Suspension, Termination, and Cancellation of the Scholarship

- (1) The Scholarship will not be paid if a Recipient is absent from classes for an extended period of time (over one month). If the Recipient submits an application for recommencement by a fixed format, after the reason of such absence has ceased, recommencement may be considered during the scholarship period stated in Article 6. The scholarship period will not be extended.
- (2) If a Recipient falls into any of the following states, provision of the Scholarship will be terminated:
 - a. graduates, withdraws, expelled, suspended, takes an extended leave of absence from school or repeat the same year (including equivalent cases).
 - b. plans to go abroad for six months total or longer during receiving scholarship regardless of whether it is on the leave of absence or not.
 - c. failure to fulfill duties of the recipient stipulated in Article 12.
 - d. no longer fulfills all of the Application Requirements.
 - e. engages in any other conduct which is deemed unacceptable.
- (3) If the donation from the Scholarship Donor is stopped, provision of the Scholarship will be terminated.
- (4) The Scholarship will be cancelled if it is discovered that any of the Application materials were incorrect.
- (5) The Scholarship will be cancelled if a Recipient does not come to Japan due to personal reasons after the travel restrictions are lifted.

14. Others (Cautions)

- (1) Recipient does not bear the responsibility to pay back the Scholarship except when the Recipient falls into one of the state listed in Article 13, in which case the Recipient may be asked to refund a part or all of the scholarship. Also, the Scholarship is in no way connected to the recruitment procedures, etc. of the Scholarship Donor.
- (2) Applicants must send in a notice without delay to JEES through their university when he/she decides to receive other scholarships. After receiving the selection result of the Scholarship Recipient, the Applicants must not decline for the purpose of receiving other scholarships.
- (3) Recipient must not apply for other scholarships during the scholarship period (except for scholarships starting after the scholarship period).
- (4) Those who have received this scholarship in the past cannot apply again.
- (5) Scholarship will continue in the case where Recipients study abroad using his/her university's program, if the period is less than 7 months and is not considered a long-term absence or leave of absence.